

子供の「？」を大切に

副校長 荒川 友子

1年生は、入学からもうすぐ3か月になり、学校の生活にも慣れてきました。先日、1年生が「学校で働いている人にインタビューをしよう」という生活科の学習をしていました。いろいろな人にインタビューをし、その中で、給食室の調理員にも話を聞いていました。「どんな仕事をしているの?」「給食室の中はどうなっているの?」という疑問から自分たちで知りたいことを伝え、インタビューを通して給食室の様子や秘密を調べようとする姿が見られました。後日、栄養士が撮ってきた給食室内の動画は、ずっと学校にいる私も初めて見るものばかりでした。1年生の疑問がなかったら、見ることはなかったかもしれません。1年生は教室で目を輝かせてこの動画を見ていました。さらに疑問も広がっていました。

学びは「知りたい」という思いから始まります。その探究心を育てるには、子供の「？」を大切にし、その思いを広げる関わりが重要です。1年生の学校探検では、給食室への純粋な疑問から学びが始まりました。こうした問いを価値づけ、「どうしてだろう」「もっと知るにはどうする?」と考えを促すことで、探究は深まります。さらに、インタビューや観察、資料調べなど多様な方法に触れさせることも大切です。加えて、調べたことを発表し合い、友達の気づきとつながることで、新たな疑問が生まれます。学校の教育活動では、一人一人の「知りたい」を出発点に、学びを広げ、深める工夫を積み重ねていきたいと思います。

先日石原三丁目「三和会」(代表氏家賢様)から本校へぞうきんを寄贈していただきました。毎年ありがとうございます。大切にに使わせていただいています。

幼保小中連携授業参観を終えて

幼保小中連携は、子供たちの成長や学びを途切れさせず、なめらかにつなぐことを目的としています。

6月17日(水)5時間目に幼稚園、保育園、横川小学校、業平小学校、本所中学校の教員に外手小学校の授業を参観していただき、その後、学習指導や生活指導についての協議会を行いました。

今後は9月に幼稚園、保育園、小学校の教員が本所中学校の授業参観、1月に6年生が本所中学校見学、2月に幼稚園、保育園の園児と1年生の交流を予定しています。

小学校入学時や中学校進学時は、環境が大きく変わるため、不安を感じる子供が多いです。教員同士が情報を共有し、一人一人のよさを大切にしながら安心して新しい生活をスタートできるようにしています。

幼保小中連携担当 山田 暁子

水泳指導について

今年度も水泳学習が始まりました。子供たちは、安全に配慮しながら、水に親しみ、泳ぐ楽しさを感じられるように学習に取り組んでいます。

学年に応じて、水慣れや浮く・もぐるといった基本的な動きから、けのびや各泳法へと段階的に指導を行っています。

また、友達と励まし合いながら取り組むことで、体力の向上だけでなく、協力する力や挑戦する気持ちも育まれています。

夏休みに入ると川や海でのレジャー等で水に触れ合う機会も増えます。4年生では自身の身を守ることができるよう、服を着たまま水に入る体験(着衣泳)、救助の待ち方などの指導もします。

引き続き、安全第一で充実した学習となるよう努めてまいります。

水泳指導担当 沖田 浩平